

# グッとくる山陰

〔特集〕  
う え だ し ょ う じ  
植田正治の『演出写真』の世界によろこそ!

2018 冬  
Winter

ご自由にお持ち帰りください



〔山陰の逸品〕 山陰の冬にあたたまる  
味で粹な、鳥取産品。

〔グッとくるコラム〕  
世界的写真家・植田正治。

柄木 孝志 (山陰いいもの探果隊 隊員)

【表紙写真】昭和11年頃の米子駅



## 世界的写真家・植田正治。

私は、鳥取に移住するまで偉大なるその名前を知ることとはなかった。写真家としての道を歩み始めるまで……。

初めて作品にふれた時の衝撃を今でもはつきり覚えている。それは風景写真という、先生の作品とはまったく畑の違う私の写真にも大きな影響を与え、それが私自身の個性と感性を生み出していったと言っても過言ではない。生前の先生にお会いしたことはない。だから先生を師事した訳でもない。しかし、私の作品の中には間違いなく「UEDA-CHO」はインスパイアされ、先生の作品の世界観は私の中に強く刻み込まれた。まさに心の師だ。

ここ大山を拠点に風景写真家として歩み続けて15年。ありがたいことに、活動の幅は県を超え、今全国へと広がっている。ただ、間違いないと言えることは、地元の人たちにこの大山を写真を通じて誇りに思ってもらいたいと発信し続けてきたことが原点だということ。そして、その発表の舞台として、写真集第二弾を発売すると同時に、今秋植田正治写真美術館にて大規模な個展「大山24hours」を開催することができた。これほどの名譽なことはない。

今年大山は開山1300年を迎え、改めてこの山の価値を見つめなおし、その偉大さを再確認し、未来へと受け継いでいこうという目的がある。ならば同時に、私の作品を通してでも今一度この地域のみなさんに植田先生の作品の素晴らしさを知ってもらい、ここに植田正治写真美術館があることを誇りに思っていたきたい。心からそう願う。

山陰いいもの探果隊 隊員  
とっとりバーガーフェスタ  
実行委員会 委員長・写真家



柄木 孝志  
からき たかし

大阪府出身、大山をはじめ山陰に魅了されて鳥取県米子市に1ターン。大山の一大イベント「とっとりバーガーフェスタ」の仕掛け人。地元の人でさえ見たこともないような感動的な山陰の風景を見事に激写した写真集「瞬(matataku)」、『24hours』好評発売中。

山陰  
いいもの  
セレクトジョン  
SANIN GOOD SELECTION  
Produced by  
山陰いいもの探果隊

山陰いいもの探果隊が  
プロデュースするオリジナルブランド、  
山陰いいものセレクトジョン。  
日本酒フリークも注目する  
山陰の銘酒を4本セットにした  
「山陰銘酒めぐり 因幡編・出雲編」。

日本酒4本入り  
(内容量 各100ml) 1,800円  
詳しくはWEBで

山陰いいもの 検索

山陰  
いいもの  
セレクトジョン  
SANIN GOOD SELECTION  
Produced by  
山陰いいもの探果隊

山陰いいもの探果隊が  
プロデュースするオリジナルブランド、  
山陰いいものセレクトジョン。  
日本酒フリークも注目する  
山陰の銘酒を4本セットにした  
「山陰銘酒めぐり 因幡編・出雲編」。

日本酒4本入り  
(内容量 各100ml) 1,800円  
詳しくはWEBで

山陰いいもの 検索

〔取り扱い店舗〕 ●おみやげ楽市 鳥取店 鳥取県鳥取市東品治町111-1 JR鳥取駅構内 TEL.0857-26-6917 ●おみやげ楽市 米子店 鳥取県米子市弥生町15-16 JR米子駅前広場 TEL.0859-31-6630  
●おみやげ楽市 松江シャミネ店 鳥取県松江市朝日町宇伊勢宮472-2 JR松江駅構内 TEL.0852-26-1539 ●セブン-イレブン ハートインJR出雲市駅 鳥取県出雲市駅北町11 JR出雲市駅構内 TEL.0853-25-0696  
※セブン-イレブン ハートインJR出雲市駅店は出雲編のみの販売になります。

山陰を走る新たな観光列車「あめつち」 運行区間:山陰本線〔鳥取～出雲市〕

運転時刻【下り】鳥取 → 出雲市						運転時刻【上り】出雲市 → 鳥取						
鳥取	倉吉	米子	安来	松江	出雲市	出雲市	玉造温泉	松江	安来	米子	倉吉	鳥取
9:00発	9:45発	11:06発	11:16発	11:45発	12:47着	13:41発	14:26発	14:43発	15:22発	15:35発	16:36発	17:36着

●土休日を中心に、鳥取～出雲市間を1日1往復運転します。  
●ご利用料金の例:〔鳥取～出雲市〕4,540円、〔鳥取～米子〕2,640円、〔米子～出雲市〕2,120円、〔松江～出雲市〕1,350円  
●乗車券の他に普通列車の指定席グリーン券が必要です。(全車指定席)

運転日など詳しくは [観光列車の旅時間](#) 検索

グッとくる山陰 冬号

発行元/JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2  
☎0859-32-0255 \*記載の情報は、2018年12月1日時点のものです。

山陰いいもの 検索

実はとっても奥深い!魅惑の「山陰」探果記  
山陰いいもの 検索 右記コードからサイトへGO! →

# 植田正治の

# 『演出写真』の

# 世界にようこそ！

山陰の人々と身近な自然が、写真家・植田正治の作品のほとんど全てでした。ときどき東京や地方に出かけ、たまには外国に行くようになって、境港の自宅に帰ると決まって、荷物も解かず、カメラを手に、近所のいつもの砂浜へ出かけるのが常でした。洗練された演出写真が『UEDA-CHO(植田調)』と称されて世界的な写真家になっても、「やっぱり山陰が一番いいな。どこを撮っても作品になるよ」と言っ、地元を離れず、カメラを手放すことのなかったその生涯を駆け足でたどります。本文でお借りしたのは、植田の三男・亨氏の貴重な言葉。家業の植田カメラを引き継ぎ、最期まで寄り添った、植田正治の唯一の語り部です。



本を持つボク(1949年頃)

山陰から世界を  
魅了し続ける  
稀な写真家を  
ご紹介しましょう。

植田正治は、1913年(大正2)3月27日、鳥取県西伯郡境町(現在の境港市)で、履物屋の次男として誕生しました。長男が夭折したため、跡取り息子として溺愛されて育った少年時代、絵を描くことが得意で、洋画家になることが夢でした。写真に熱中したのは旧制中学時代。5年生のときに撮ったセルフポートレートはフォトモンタージュ風で、後の代名詞となる『演出写真』そのものでした。

卒業後は、画家を目指そうと、美術学校の入学案内書を取り寄せましたが、「絵描きで食べていけないはずがない」と両親は猛反対。高級な舶来カメラを買うことを条件に、夢を断念しています。

東京のオリエンタル写真学校で学びながら、日比谷の写真館で修業した植田は、19歳で帰郷すると実家の2階で写真場(後の植田カメラ)を開業。白い洋館風のモダンな外観のスタジオには、自然光で撮ることが当たり前だった時代には、最先端のライトを導入し、「夜でも写真を撮ってくれる写真館」として、大変評判になりました。結婚したのは、22歳のとき。美しい妻・紀枝をモ



ボクのわたしのお母さん(1950年)

デルに家族写真を多く撮って、愛妻家のイメージが強い植田ですが、実は、夫婦げんかもしょっちゅうだったのだそう。「父は、写真館が忙しくてもお構いなしに、自分の写真を撮りに出て行くから、母がシャッターを切ることになる。夜、写真の修正をするために並んで仕事をしていると、決まって口ゲンカがはじまるわけですよ」と当時を振り返る亨氏。そんな夫婦の光景も、なんだか微笑ましい。

洗練された演出力が際立つ植田の家族写真はどこかユーモラスであたたかく、幸せのオーラを感じずにはいられないのです。



愛用のカメラと作画計画ノート

亨氏が、父・正治の遺品の中から見つけた、表紙に「作画計画ノート」と題された昭和24年頃のノート。開かれたページは「パパとママとコドモたち」の絵コンテである。

「やっぱり山陰が一番いいな。  
どこを撮っても作品になるよ」



少女四態(1939年)



シリーズ(砂丘モード)より(1983年)



シリーズ(童顔)より(1959-70年)

カメラに夢中になった植田は、初めて応募した作品『浜の少年』が雑誌『カメラ』に初入選すると、以降もカメラ雑誌や写真展に次々に入選を果たしました。こうして、山陰のアマチュア写真家・植田正治の名前は、世に知られるようになっていくのです。

「しかし、父にも、青の時代がありました。土門拳さん(1909・1990)が『リアリズム写真』を提唱した1950年代の頃です。終生『リアリズム写真』は撮れない。僕は哀しいものには絶対にシャッターを切れない。そう語っていた父。そんな対局にあるような写真家同士でしたが、土門さんは『あなたの写真はとてもいい』と言って、父の写真を認めていました」

植田は生涯で2度、作品を撮らなかつた時期があったといいます。最初は、戦時中。そして2度目は、妻の紀枝を見送ったとき。最愛の被写体を失い「もう写真を撮る気がしない」と言って、作品を撮ろうとしませんでした。

そんなとき、『写真する』ことへの情熱を取り戻すきっかけを用意したのが、アートディレクターとして活躍していた植田の次男・充でした。こうして実現した鳥取砂丘をホリゾント(舞台装置)としたファッション写真『砂丘モード』は、世界のファッション業界に旋風を巻き起こしました。この仕事で、父子は広告の最高賞「ADC賞」を受賞(1984年)しています。

さらに、ミュージシャン・福山雅治氏のCD『HELLO』(1995年)のジャケット写真で若い世代のファンを獲得。当初は、ヨーロッパでの撮影を予定していたそうですが、「日本にも素晴らしいカメラマンがいるじゃないか」と植田正治の名前が上がり、鳥取砂丘での撮影が行われたのでした。

1995年(平成7)には、念願だった『植田正治写真美術館』が開館します。「父は、美術館が出来る前に、『自分の作品は弱いから』と言って、写真とあわせて展示しようと、絵画をコレクションしていたこともありました」との裏話。巨匠と呼ばれる写真家の、なんとも謙虚で、気弱な一面が垣間見えるエピソード。美術館開館の翌年には、フランスの芸術文化勲章シュバリエも受賞しています。

2000年7月4日の蒸し暑い朝、87歳で息を引き取るその前日まで、カメラをひよいと手にとり、撮影に出かけていたという写真家・植田正治。生涯なものにもとらわれないアマチュア精神を貫き、ただ純粹に『写真する』ことを楽しみ、作品の中に様々なイタズラ心をちりばめました。

植田の写真と対峙するとき、どこか快い不思議さを感じるのには、そんな巧妙な仕掛けが隠されているから。撮影時の洗練された演出はもちろん、現像時の独特なテクニクから生み出される作品世界は、国境も世代も時間軸も軽々と飛び越えてみせて、観る人々を不思議の国へと誘導します。だから私たちは、植田正治の写真から目が離せなくなるのです。



ジャンプするボク(1949年頃)



湖の少女(1958年)



停留所見える風景(1931年頃)



現在の境港市の様子



植田正治(撮影/沼田早苗)

### 植田正治写真美術館

植田正治の作品約1万2000点を収蔵・展示する写真ミュージアム。植田の希望で作られた映像展示室には世界最大規模のカメラレンズが設置され、人が大きなカメラの内部に入り込んだ感覚になれる仕組みが植田らしい。(但し、冬の12月1日~2月末日まで休館)鳥取県西伯郡伯耆町須村353-3  
アクセス:JR米子駅からタクシーで20分またはJR岸本駅からタクシーで5分  
お問い合わせ:TEL.0859-39-8000

※写真はすべて植田正治写真美術館所蔵

境港から  
世界へはばたく  
老舗酒蔵



慶応元年創業の歴史を刻みつつ、常に前向きな酒造りを続ける境港の老舗酒蔵「千代むすび酒造」。日本酒の海外輸出を手がけ、境港の本店にはお酒を愉しむ立ち飲みスペースを併設するなど、日本酒文化の発信に取り組みしています。鳥取の酒米「強力」を使用した銘柄でも、精米歩合によって味わいが異なることを教えてくれます。「純米大吟醸強力40」は4割まで精米したもので、穏やかな香りと上品なコクが特徴。バランスのよい味わいは食中酒に最適。お燗や冷やで味の変化を楽しんでみるのもおすすめです。

千代むすび  
純米大吟醸 強力40  
(720ml) 2,970円

【取扱店】  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市  
千代むすび酒造株式会社  
鳥取県境港市大正町131  
☎0859-42-3191  
http://www.chiyomusubi.co.jp



山陰の冬にあたたまる  
味で粹な  
鳥取産品。



全国屈指の紅ズワイガニ水揚げ量を誇る境港からお届けするのは、カニの風味をぎゅっと閉じ込めた香味油。紅ズワイガニの肩肉と足を使用し、カニのエキスを抽出して作っています。スープの香り付けに一滴、マヨネーズや醬油と混ぜてドレッシングを作ったり、バスタソースに使ったり、楽しみ方はさまざま。ご自宅で手軽にカニの風味を再現できます。蓋を開けた途端に香るカニの奥深い風味が、料理を贅沢に仕上げてくれます。

【取扱店】  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

有限会社 前田水産  
鳥取県米子市大篠津町387  
☎0859-28-8337  
http://kanisho-m.com



【取扱店】  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

宝福一有限公司  
鳥取県倉吉市西倉吉町23-1  
☎0858-28-2321  
http://takarafukuichi.jp/



福ノ誉 じゃことらっきょうの生ラー油(100g) 680円  
福ノ誉 くだき梅らっきょう(100g) 648円  
福ノ誉 旨辛らっきょう味噌(100g) 648円

らっきょうの  
新しいおいしさを  
食卓で楽しんで

鳥取砂丘に隣接する福部町のらっきょうは、色の白さとシャキシャキとした食感が人気。「らっきょう」の付け合せ「じゃないもの」を作り「たいり」という生産者の思いを形にしたのが「福ノ誉」シリーズ。厳選した調味料を混ぜ合わせた、試行錯誤の上、3種類の味が完成しました。ご飯はもちろんです。サラダや、お肉料理の調味料としてもよし。食卓が楽しくなるお好みのアレンジ方法でお召し上がり下さい。

砂丘に思いを  
馳せた  
フランスパンの  
ラスク



このラスクのために専用バゲットを焼いています。前田政友さん

地元で愛される洋菓子店「バンドラの箱」がつくる「ラスク」の足あとには、のんびりと砂丘を歩くラクダ、風紋に残されたその足あとを思い描きながら焼き上げたラスクです。おいしいラスクの決め手はおいしいパン。自社のパン工房で専用バゲットを焼き上げているため、一味違うサクサクの食感、香ばしさにやみつきになること間違いなし。手土産にも、自宅でのおやつにもぴったりです。

ラスクの足あと(プレーン・アーモンド・チョコレート) 各378円

【取扱店】  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

有限会社パンドラの箱  
鳥取県鳥取市興南町78 [水曜定休]  
☎0857-29-7889  
http://www.pandora-cake.com



【取扱店】  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

国造焼  
鳥取県倉吉市不入岡390 ☎0858-22-8388  
https://www.pref.tottori.lg.jp/30752.htm

『星取県』が贈る  
おいしい流れ星

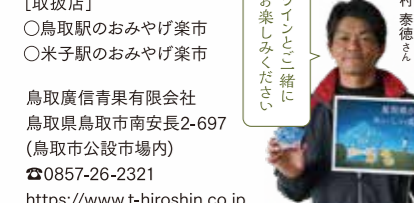
砂丘の砂で栽培された「砂丘ごぼう」は土臭さがなく香り高いのが特徴。そのおいしさに感動した公立鳥取環境大学起業部の学生が、鳥取県産品と「砂丘ごぼう」のおいしさを広める商品を共同開発。粉末にした「乾燥砂丘ごぼう」に、おからの素朴な味わい、チーズの濃厚な風味を加え、ワインにぴったりのお菓子を仕上げました。星空のきれいな「星取県」の美しい流れ星を、お土産に持ち帰ってみてはいかがでしょうか。



ごぼう  
五芒星型クラッカー 砂丘の流れ星  
(10枚入り) 540円

【取扱店】  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○米子駅のおみやげ楽市

鳥取県産品株式会社  
鳥取県鳥取市南安長2-697  
(鳥取市公設市場内)  
☎0857-26-2321  
https://www.t-hiroshin.co.jp



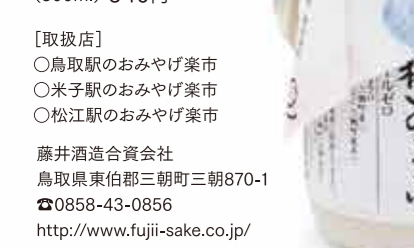
鳥取県中部の山間に約850年続く歴史ある三朝温泉。「藤井酒造」は、風情漂う温泉街の一角で、江戸時代より続く酒蔵です。吟醸酒と同じように丹精に米を磨き、雑味を取り除いた酒蔵手造りの甘酒は、驚くほどクセがなくお米だけの自然な甘み特徴。地元三朝町の米と米麴を、三朝温泉の水で仕込んだこだわりの品です。ノンアルコールでお子様もお飲みいただけます。甘酒が苦手、そんな方もぜひ一度ご賞味下さい。



スイーツ糎あまざけ  
(200ml) 350円  
(300ml) 540円

【取扱店】  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

藤井酒造合資会社  
鳥取県東伯郡三朝町三朝870-1  
☎0858-43-0856  
http://www.fujii-sake.co.jp/



左記マークのついた商品につきましてはJR駅構内の店舗などで取り扱っております。 ※掲載商品の金額はすべて税込表示です。